

予約
不要

がん患者さんとご家族の集う場所

出入り
自由

がんサロン「ハーモニー」

- ♪開催日 平成29年11月15日(水)
- ♪時間 午後2時～3時半
- ♪場所 病棟10階デイルーム
- ♪テーマ 『緩和ケアセンターについて
～がん哲学外来を含めて～』
- ♪参加者 40名



麻酔科蘇生科／
緩和ケアセンター
山田 圭輔先生

人は物語を生き
ています。

老病死の苦境を
どのように生きる
か…。

一人で考えるの
は困難です。寄り
添う支援者が必
要だと感じていま
す。

がんには様々な苦痛(問題、悩み)あり
(トータルペイン)

身体的苦痛

社会的苦痛
(生活、暮らし)

心の苦痛

外来診察で
先生へ心の苦痛を話す
場所があります



がん哲学の始まり

がん研究がどれだけ進んでも、
人には最後に死ぬという大きな
仕事が残る。

がん医療には科学だけでなく、
哲学的な考えを取り入れる必要
がある。

現代の医療現場では、科学的な考えが大勢を
占めており、哲学的な考え(死を想う、死までを
生きることを支援する)を持つ医師は少なくなっ
ている。これは医療現場の大きな隙間である。

がん哲学外来は、
精神面を重視

がんに伴う心の苦痛(気持ちの辛さ)

病的な精神状態

重度の不安やうつ病
せん妄(意識障害)

今後にどのような
治療?経過?生活?

医師からの説明だけでは
想像つかない!
他の人はどうしている?

自分の存在が
消えていく
(スピリチュアルペイン)

自己の存在と意味が
消滅するよう感じる
ことから生じる苦悩
(無力、無意味、無価値)



金沢病院がん哲学外来(麻酔科蘇生科外来)
毎週火曜日:午後2-4時(予約制)

金沢がん哲学外来(元ちゃんハウス、金沢赤十字病院)
年4回開催(季節毎) → 徐々に増やしていきたい

次回は・・・
知りたい!
検査データの見方

ミニレクチャー:『緩和ケアセンターについて
～がん哲学外来を含めて～』

講師:麻酔科蘇生科／緩和ケアセンター 山田 圭輔先生 資料より引用